

日本を支える建設業界で働く人のためのフリーペーパーマガジン

架橋

[かけはし]

2019年
第18号
1月発行

〈特集〉

人材確保につながる

社員寮リニューアル



便利アイテム紹介

こんなのが欲しかった

現場女子が語る

オンナのホンネ

【表紙モデル】(菊川工業㈱)
◎野中智典さん ◎ゲエン・チ・タインさん ◎小野努さん

~FOR NEXT GENERATION WORKERS~ スポニチ

プロの技を駆使し築26年の建物を約3か月かけリニューアル

超優 速 な福利 厚生で

菊川工業株式会社「アルビスキクカワ」

02人(2018年12月20日現在)

建築物の金属製内外装工事を手がける菊川工業(東京都墨田区)はこのほど、千葉県柏市にある社員寮「アルビスキクカワ」をリニューアル。ベトナムから受け入れている技能実習生も入居できる社員寮として進化を遂げた。これに伴い、工場と社員寮を結ぶ通勤送迎バスも運行。実習生や社員の満足度向上を図り、人材確保につなげていく。

【公式サイト】
<https://www.kikukawa.com/>

▼菊川工業株式会社
1933年11月1日創業のオーダーメイド金属建材メーカー。時代をリードする国内外の建築物に挑戦しており、昨年竣工した東京ミッドタウン日比谷の金属工事などにも参画した。宇津野嘉彦社長。資本金1億円。本社は東京都墨田区菊川2の18の12。キクカワテクノプラザは千葉県白井市中98の15。事業所は大阪、香港、ホーチミン、上海。従業員2



社長も参加してクリスマスパーティー開催!!



中庭に人工芝敷き詰め「バーベキューもOK」



①菊川工業社員寮「アルビスキクカワ」の正面外観②社長(前列中央)も参加した昨年のクリスマスパーティー③人工芝を敷き詰めた中庭④日本語教室にも熱が入る⑤工場での組み立て作業⑥通勤送迎バスも運行している

日本語検定合格を目指し研修室で2週に一度の勉強会

4

○…総務部の野中次長と石上課長が「先生」
 長と石上課長は、実習生のための日本語勉強会を行っている。2週に一度、終業後に研修室に集合。テキストや音声教材を使用し、日本語の上達に向けて力を合わせている。現在はティンさんら3期生と、4期生・5期生が能力によって2クラスに分かれ、日本語検定合格を目指して努力を続けている。



5



**施設機能さらに充実へ
 人材確保にも手ごたえ**
 1992年に竣工した「アルビスクワワ」は柏市の住宅街に位置する。築26年を迎えた昨夏、約3カ月をかけてリニューアル。本業で内外壁パネルの更新工事や建具リニューアル工事を請け負っているため、プロの技を駆使してキレイに

送迎バスで工場へ。作業に集中できる好環境

6



生まれ変わった。中庭に人工芝を敷きバーベキューなどのイベントに活用できるようにしたほか、2階のサロンを刷新。料理も可能で、入寮者の交流の場としても活発に利用されるようになった。
 リニューアルに伴い、14年から受け入れているベトナム人実習生の住まいもアルビスクワワに集約した。各地の借り上げ社宅に住んでいた彼らが一同に入居し、同社の若手、中堅社員と一緒に暮らすことで、不慣れた日本での生活を孤立することなく充実したものにした。さらに「アルビスクワワ」と千葉県白井市にある工場「キクワテクノプラザ」を結ぶ通勤送迎バスを開設。行きは午前7時25分、帰りは午後5時と7時発のバスを運

で、相乗効果もあらわれている。昨冬には宇津野野嘉彦社長が参加してクリスマスパーティーを実施。ティンさんが「寮で楽しかったことはパーティー」と振り返るように、充実したひと時を過ごした。また、実習生は通常2人1部屋で生活しているが、日本語検定などで結果を出せば1人部屋になる制度もあり、語学力アップのモチベーションにもなっている。
 そんな社員寮で寮長を務める総務課の小野努さん(32)は「あいさつを大事にすることを心掛け、意思疎通がさらに図れるようになっていきます。ポウリング大会など、イベントも定期的に行いたい」と笑顔で語った。3月には6期生6人も入居する予定だ。厚生施設としての「アルビスクワワ」の機能はさらに充実する予定で、同社の福利厚生の一つとして大きくアピールするものになる。野中さんは「人材確保にも役立てたい」と手ごたえを感じていた。

ベトナム 実習生も社員も満足

行し、利便性を向上した。
 ベトナム南部ビンロン出身のグエン・チ・ティンさん(27)は「皆が集まって、うれしい。日本で仕事を長く続け、将来はベトナムの支社(KIKUKAWA CAD CENTER CO., LTD.)で働くことが夢です」と流ちょうな日本語で語った。現在、製造部の「関口チーム」で組み立て作業を行うティンさんを含め、ベトナム人実習生は2期から5期まで17人が働いており、それぞれの持ち場で汗を流している。
 実習生を受け持ち、熱心に指導する総務部の野中智典次長は「皆、素直で勤勉です。3年間の研修期間内に『随時板金技能試験』に合格し、2年の延長期間に入っている者もいます」とうれしそうに話した。
 住まいを「アルビスクワワ」に集約したこと

スポニチ 求人



新聞の求人案内が
スマホで探せる!

スポニチ案内 スマホNavi

スタート

スポニチ紙面の
「スポニチ案内」に
掲載すれば



Webサイト
「スポニチ案内
スマホNavi」
にも広告が掲載!



スマホの画面を
タッチするだけで
広告主に直接
電話が可能!

今すぐアクセス!!

▼東日本



東日本

<https://sponichi.net/sp-navi/east/>

西日本

<https://sponichi.net/sp-navi/west/>

▼西日本



＜東京都や地方自治体の水道本管工事が中心＞

宗明建設(株)



1980年に創業し、現在社員約100人の宗明建設株式会社。若く活気あふれる同社では経験、資格を問わずヤル気のある人材を募集している。配水本管(700mm・600mm)布設替及び配水小管撤去工事の様子



宗明建設は東京・葛飾区を拠点とし、東京都や地方自治体の水道本管工事を中心に、下水道、道路、土木一般工事などを手掛けてきた。水道施設工事と一般土木工事の東京都入札資格ランクは「A」と高い評価を受けている。

1980年に創業し、現在社員は約100人。昨年は葛飾区や江東区などの水道本管工事をし、葛飾区奥戸の工事は「平成29年度水道工事イメージアップコンクール」の優良賞を受賞。さらに20年東京五輪水球会場である東京辰巳国際水泳場の土木一般工事も手掛け、このほど創業以来初となる「優良工事」の認定を受けた。

木内竜平代表取締役は「社の強みは機動力。人、機械、車、材料と、水道工事に必要なものはすべて揃えています。100%自社施工でやって来ました」と胸を張る。作業員はもちろん、作業機械や車両を多数所有し、体制は常に万全だ。

2代目となる木内代表は35歳。01年に入社、営業と事務を経て19歳で先代・宗平会長の後を継ぎ代表に。代表職と並行

**「強みは機動力。100%自社施工」代表取締役
オリンピック関連工事も高評価
フェス事業、女性総合格闘家スポンサーにも挑戦**

して4年間は作業員、監督などの現場作業にも従事し経験を積んだ。現在も時には現場に赴き、大切にするのは「輪」だとする。「輪とは協力と機動力です。何かあれば他の現場から総出で駆けつけることもあります。生活面での安心・安全も大事にしています」と強調する。対話を重視し、事務所には代表室を設けず、オープンスペースで執務を行う。趣味であるフットサルのチームには社員も参加していると言う。

社では新たな取り組みも行っている。世代交代で30~40代の社員が中心となり、若手の育成にも力を入れている。水道本管工事以外の公共工事が増やし、昨年からフェス事業もスタートさせた。実弟・宗和さんが経営するイベント会社ランドが手掛ける水×音楽のフェス「S20ジャパン」の会場設営に関する工事を手掛け、今後も事業を広げていく考えだ。女性総合格闘家・浅倉カナナのスポンサーも始めた。

若く、活気あふれる同社では、監督、作業員といった人材を引き続き募集している。木内代表は「経験、資格はなくてもいい。若くてやる気のある人を求めています」と呼びかけた。

【会社名】宗明建設株式会社
【所在地】東京都葛飾区西水元一丁目15番4号
【電話番号】03(3607)6440
【HP】<http://www.soumei-kk.co.jp/>

＜和歌山県や橋本市をはじめとした地元の土木工事＞

山口建設(株)



山口建設株式会社
真っすぐ 土木!



1 国道26号交通事故対策他工事 2 京奈和自動車道に平行する側道の一部を施工 3 和歌山市内、けやき通り交差点舗装工事。交通量が多い場所は夜間工事にて対応している

和歌山県橋本市の山口建設(株)は、主に和歌山県や橋本市をはじめとした地元の土木工事を手掛けている。1967年に創業し、長くに渡って地域のインフラを支える役割を果たしてきた地元の優良企業。「顧客・自社・地域」のみんなが満足する「三方よし」を経営理念とし、地域貢献を大事にしており、スローガンとする「真っすぐ 土木!」のもと日々の業務にあたっている。

ここ近年増えている自然災害。近畿地方を襲った昨年9月の台風21号は、和歌山でも猛威を振るった。特に、最大瞬間風速50m/sを超えるなど暴風による倒木や電柱が倒れるなど大きな被害

**インフラを支え「顧客・自社・地域」のみんなが満足する
「三方よし」が経営理念**

自然災害時には緊急工事要請ある地元優良企業

が出た。土砂崩れや倒木による道路の寸断は、生活に大きな影響があるため、緊急工事を要する。災害協定による要請を受け、同社もこの時は倒木の撤去などに携わった。緊急を要する土木工事は、こうした地元建設会社などの努力によって支えられている。

また、高度成長期に建設されたインフラの老朽化への対応も使命と捉えている。「子どもたちが今も未来も安心して暮らせる社会」のために、一緒に働く仲間も絶賛募集中。施工管理や作業員問わず、地元へ貢献したいという思いに共感する人は、お気軽にご応募を。

【会社名】山口建設株式会社
【所在地】和歌山県橋本市原田134
【電話番号】0736(32)7488
【HP】<http://ykensetsu.com/index.html>

ウチの会社
元気です!

原田(株)とドリカム・中村正人がコラボ

【原田(株)公式サイト】
<http://www.harada-co.com/>
【DCTgarden SHOPPING MALL】
<https://dctgardenshoppingmall.com/pc/index.asp>



山口県防府市に本社を構えるユニホームの製作・販売会社の原田(株)と「DREAMS COME TRUE」の中村正人(60)がコラボし、現場職人向けオーダーユニホームの新ブランド「MST(マスト)オーダーユニフォームカンパニー」を立ち上げた。

1972年の創業以来、さまざまな業種のユニホームを作り続けてきた原田(株)は昨年45周年を迎えた。そこで培ってきたノウハウと情報を生かすべく、昨年1月に業界初のオーダーユニホームに特化した「オーダーユニフォームカンパニー」を新設。機能性はもちろん、デザイン性や独自性にたけた世界に一つだけの商品を製造することで、企業イメージや社員の意欲向上などに貢献してきた。

中村正人は、これまで行ってきた様々なプロジェクトを通して、現場職人が重要であるのか、職人ひとりの「現場での」スキルや創意工夫、仕事に対する情熱にかかっているということを実感し実感している。そのプロフェッショナル達に共感し、サポートするため立ち上げた新ブランド。以前から自身の運営する「DCT entertainment」の所属アーティストである「FUNNY CONTROL SOUND」

「MSTオーダーユニフォームカンパニー」
現場職人向けにリスペクトしプロデュース



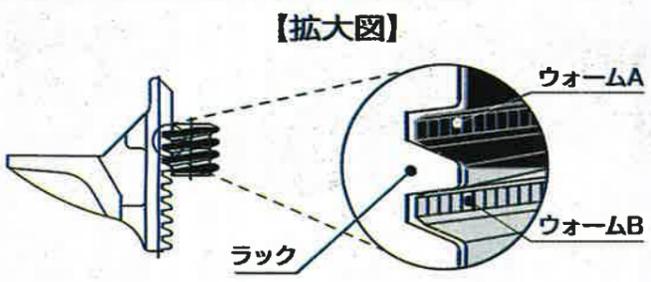
(33)が同社とライブの衣装やグッズを共同制作していた縁もあり、今回のブランド設立に至った。

オリジナル商品は、2月下旬ごろから中村がエグゼクティブ・プロデューサーを務めるネット通販サイト「DCT Garden SHOPPING MALL」で発売予定となっている。中村が実際にデザインしたウェアは、表面的なデザインだけではなく、作業着としての機能美を追求。素材からディテール、シルエットなど細部までこだわりの詰まっている。

日本のトップを走り続ける企業とアーティスト。意外にも見えるこのコラボレーションは、もの作りにも携わるすべての人々に、新たな風を吹かすに違いない。

現場職人向けユニホーム新ブランド!!

90周年限定生産品は「究極のモンキレンチ」



【拡大図】

整ネジが2分割構造になっており、その間に組み込まれたバネで下アゴのラックを挟み込み、下アゴのガタツキを無くした機構のこと。また、90周年特別印が入っているプレミアム品。

トルクがかかりやすく、なめらかに「X-DRIVE(エクストードライブ)」機能と、縦方向のカタツキ(遊び)をなくしてくれる「G-LESS(カタレス)」機構に加え、今回の「Bores」(バックラッシュレス)の機構搭載で、「究極のモンキレンチ」となっている。限定品となっているため、お求めは早め。

（株）ロブテックスHP：<http://www.lobtex.co.jp/>



（株）ロブテックスから更にナメない逸品!!
新機構の「バックラッシュレス」スウオーム

エヒ印でお馴染みの（株）ロブテックスは、モンキレンチ(エヒ印モンキレンチ)を1928年に製造スタートし、2018年で90周年を迎えた。それを記念して、2018年1月からの第1弾キャンペーンとして、モンキレンチ購入1丁につき缶コーヒープレゼントや、ネットくじによる高級工具ケースプレゼントの実施、2018年10月から第2弾キャンペーンとして、対象モンキレンチ購入でLOBSTERオリジナルグッズが合計270名に当たるネットくじキャンペーンを行ってきた。そして、キャンペーンの第3弾として2019年1月から90周年完全限定生産品・モンキレンチを発売。従来のナメない(失敗しない)モンキレンチを誇るハイブリッドモンキレンチXカタレスに、「バックラッシュレスウォーム」をプラスして、更にナメないモンキレンチとなっている。「バックラッシュレスウォーム」とは、ウォームと呼ばれるモンキレンチの調

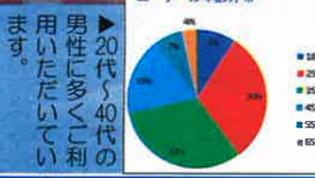
KAKEHASHI 2019. WINTER EDITION

建設現場の求人は「スポニチ求人サイト」にお任せ下さい! スポニチ求人



現場は
おれに任せろ!!

スポニチ求人ならではの、
土木・建築・現場のお仕事が毎日更新されます。



現場で人手が足りないとお悩みの方...
「スポニチ求人サイト」で作業員募集してみませんか?
建設作業各職種に即日対応いたします。

お申し込み・お問い合わせ: kyujin@sponichi.co.jp またはHP: <https://kyujin.sponichi.co.jp>

お申し込みの際は必ず「架橋見た」とお伝え下さい!

さっそくスポニチ求人でお仕事探し!!

おすすめ検索

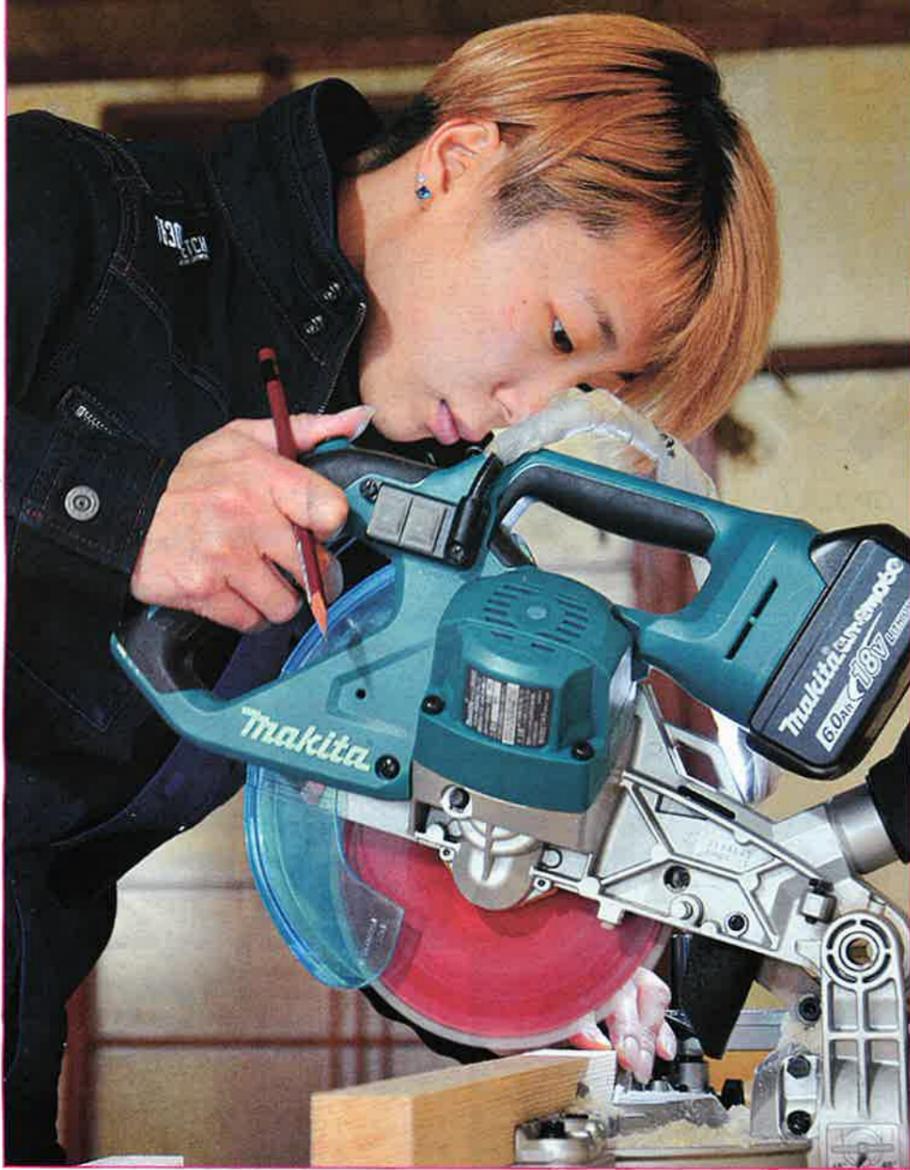
- 建設現場で探す
- 工場です
- ドライバーです
- 本日の求人
- イチオシの求人

スポニチ求人 検索

現場女子ファイルVOL.17

▼木材をカットする梅元藍さん(父・創成さんと藍さん)のミッキーをイメージした子ども用テーブルを親子で製作

大工一家の4代目も初めは「家に帰ったらクタクタで晩ご飯も食べずに寝ていた」



「他の大工さんを見ていて、父はやっぱすごいなと思う」
どんな仕事にも決して手を抜くことなく、きっちり作り上げる職人の背中を一番近くで見えた。その姿に一日でも早く近づけるように、今は勉強あるのみだ。



大阪府泉佐野市「和工房」で大工歴6年 梅元藍さん(25)



大阪府泉佐野市の「和(いずみ)工房」で勤める梅元藍さん(25)。高校卒業後しばらくしてから父・創成さん(48)の現場を手伝ったことをきっかけに、この世界に足を踏み入れた。大工歴は6年で「まだまだ分からないことはあります」と毎日修行だ。
大工一家に生まれ育った。曾祖父の代から続きた。藍さんが4代目になる。「全然(大工に)なるとは思ってなかった」というが、始めてみると意外にも楽しかった。できないことも、いつも父の後ろについて回っている。いろいろな風いろん

「父はやっぱすごいなと思う」背中を追いかける毎日
なことをする大工さんもあり。家具なんかは日曜大工の延長だからね」と創成さんが言う通り、家や施設など建物の施工はもちろんだ。家具や子供のおもちゃ作りなど、仕事は多岐にわたる。何でもできる大工として、親子二代でさまざまな仕事に取り組んでいる。
はじめの頃は、とにかく行くのに必死だった。材料一つにしても、男性のように軽々には持たない。ベテランの創成さんが簡単に取り組む作業にも挑戦してみようが、藍さんが扱うには道具が重すぎて、なかなかうまくいかなかった。「家に帰ったらクタクタで晩ご飯も食べずに寝ていた」。それでも決して弱音を吐かずに続けられたのは、大きなやりがいを感じるからだ。「少しずつ自分に合った道具も見つけられた。出来上がっていくものに、自分で手を入れられるのはやっぱり楽しい」と笑顔で話す。

昨夏始めたサーフィンにも夢中。「波に乗って、仕事ができる一人前の職人目指す」



女性職人さん大募集!!
職種は問いません。応募は下記まで

よろしくお願いたします

【架橋(かけはし)とは?】

日本の土台を支える建設業界で働く人に「誇り」を持って仕事をしてもらいたい。本紙を通して業界(職種)のことを少しでも知ってもらい、今まで知らなかった人にも認められることで自分の仕事を誇らしく思う。このフリーペーパーがそういう「架橋」になりたいという思いと、次の世代へ繋ぐ「架橋」という意味を込め創刊いたしました。

【お知らせコーナー】

(設置場所募集)フリーペーパー「架橋」の設置協力いただけるショップ、企業を募集いたします。
(モニター募集)商品テストしたい企業様、モニター(モデル)になってもいいという方を募集しています。



(読者モデル募集)「架橋」の表紙モデルになりませんか? 希望者は簡単なプロフィール、連絡先、写真を添えてメールにてご応募ください。

問い合わせ・応募先:kakehashi@sponichi.co.jp
【次回発行】2019年5月予定
【発行元】スポーツニッポン新聞社 【協力】榊宣成社
【求人広告のご用命】建設作業員、職人募集は「スポニチ案内」へ。
問い合わせ 東京03(3820)0627
大阪06(6346)8562

f 架橋フェイスブック始めました!
https://www.facebook.com/kakehashi.workers

求人情報はこちら!
スポニチ求人=https://kyujin.sponichi.co.jp

